

## 平成18年度大気環境保全活動功労者表彰受賞者及び功績

(個人:5件 団体:6件)

## 個人

氏名	年齢(歳)	職 業	功 績 概 要
かわかみ こうじ 川上 幸二	57	岩崎電気(株)技術 開発室技術部長	岩崎電気株式会社に入社以来長年にわたり、適性な照明器具の開発、照明環境の創造を通じて光害防止を推進。 環境省の「光害対策手法検討会」等の委員を歴任し、「光害ガイドライン」、「地域照明環境計画策定マニュアル」等のとりまとめに尽力し、大気環境保全に多大な貢献。
しほだ まさすみ 塩田 正純	64	工学院大学工学部 建築学科教授	長年にわたり建設会社技術研究所で騒音・振動防止技術の開発に携わり、実績を認められ平成17年より工学院大学工学部教授として後身を育成。 環境省の中央環境審議会臨時委員等、各種委員を歴任し、振動評価手法、低周波音の普及啓発に関する業務に参画するなど騒音振動行政に多大な貢献。
すずき しげる 鈴木 滋	59	宮城県保健環境セン ター総括研究員(兼)環 境生活部技術副参事	昭和59年から除草剤由来ダイオキシン類に関する研究を行い、その後ダイオキシン類の揮発性や光分解性等を明らかにする等一貫してダイオキシン類に関する研究を継続。 平成12年度よりダイオキシン類環境測定調査受注資格審査検討員(平成16年度からは主査)として、ダイオキシン類測定の精度管理の向上に多大な貢献。
どい じゅんいち 土井 潤一	57	大和化学工業(株) 代表取締役社長	日本産業洗浄協議会の理事として、利害関係の異なる会員の立場を統合し、VOC排出抑制における産業洗浄分野の問題点の整理、抑制対策の方向付けに貢献。 環境省の中央環境審議会のほか他省庁、自治体のVOC対策に係る審議会等の委員等として行政分野にも多大な貢献。
はしもと ちから 橋本 力	59	JSR(株)鹿島工場環 境保安センター長	工場の環境保全計画を策定・推進し、大気汚染物質の大幅な排出削減を実施。また、20年間環境保安業務に従事し、協力会社を含めた環境保全意識の高揚、啓発活動を推進。

## 団体

団 体 名	代 表 者	功 績 概 要
しや おおさかふ (社)大阪府トラック 協会	かいちゆう やまと けんじ 会長 大和 健司	全国のトラック協会に先駆けて平成6年に「環境対策委員会」の設置、平成13年には協会としての環境アクションプランである「環境基本行動計画」策定し、アイドリングストップの徹底等、幅広く大気環境保全活動に貢献。
かぶ きゅうしゅう サントリー(株)九州 熊本工場	こうじょうちゆう かとう せいいち 工場長 加藤 清一	工場内のボイラやリフトカーの燃料を天然ガスにするなど、工場から排出される大気汚染物質の発生抑制を図り、地域のばい煙発生施設のモデル工場となっており、大気環境保全への貢献が顕著。
しずおかけん しょうひしゃ だんたい 静岡県消費者団体 連盟東部支部	しづちゆう かなざき み 支部長 金崎 まゆ美	平成元年から二酸化窒素、平成4年から酸性雨の測定を毎年、定期的実施し、新聞や生活展等で発表するなど、長年にわたり地域の大気環境保全活動の推進に尽力。
かこう かぶ トーヨー加工(株)	だいいちゆうとりしまりやく かいちゆう 代表取締役会長 けんしやちゆう かわだ よしろう 兼社長 川田 善朗	他の同業事業者に先駆け、VOC排出抑制対策として印刷インキの水溶性を推進。また、VOC使用量の削減と大気排出量の抑制を目的として溶剤回収装置を設置するなど、VOC対策に先駆的・積極的な取組を実施。
みどり かんきよう 緑の環境クラブ	だいいちゆう きただ かな こ 代表 北田 香菜子	平成9年の設立以降、酸性雨の汚染状況を継続して調査し、セミナーや行政主催のイベントにおいて結果の掲示と調査活動の実演を行っており、また里山整備や植林活動を行うなど、大気環境保全に対する意識の高揚に貢献。
かぶ リンテック(株)	だいいちゆうとりしまりやく けんしやちゆう おあうち あきひこ 代表取締役社長 大内 昭彦	VOC削減対策に関し、法律による規制前から先行して取組みを行っており、その削減実績も顕著。また、日本製紙連合会の「VOC自主行動計画」の策定に際し、自社の知見等を踏まえ主導的役割を果たすなど関連業界に対しても多大な貢献。